

受験番号
氏名

問一
A ウ
B イ

問二
C 仲裁
D 偽装
E けつじよ
F あやうい
G 抗議

問三
a ア
b ウ
問四
x イ
y エ
問五
ア

分	社
た	会
ち	の
で	な
マ	か
ネ	で
ー	自
ジ	分
で	た
き	ち
	の
	生
	活
	を
	自

能力。

問七
攻撃的に苦情をぶつけるだけで自ら問題解決に取り組もうとしない、とても受動的な態度であると見なしている。

問八
家族や近隣住民の間で、協力してなされてきた、生活プロセスのほぼ全面が、サービス機関や業者に委託されるようになった社会の仕組み。

イ

二

問一
D 拭き
E いっしゅう
F 幻想
問二
a 足
b 水
問三
① イ
② ア

(身)

問四
ちーちゃんが来たことで、都合良く応援旗づくりから逃れることができると考えたから。

ウ

問六
A 松村さんが応援旗の背景に赤い絵の具をこぼした
B 応援旗づくりにはほとんど参加していなかった
C 朱里に注意をした

問七
パステルカラーの空色の上に散った赤い絵の具を、上から塗り直して隠すのではなく、全体に花びらを描きたしてデザインの一部とすること。

問八
みんなの視線が自分に集まっていたことから、自分の思いつきがおかしかつただらうかと思つたが、すぐに、しおりが賛同してくれたので、驚いている。

エ

問九